

自転車梱包作業の説明書(レンタル専用ケースの場合)

*この輸送ケースはロードタイプ、クロスタイプの自転車用に設計されております。MTB等の一部の機種には対応致しておりません。また、インテグレートシートピラー(シートポスト)タイプには対応致しておりません。
*自転車専用ケースですので、**壊れやすい物・貴重品等の商品は同梱しないよう**にお願いいたします。

《商品に関するお問い合わせ》
西濃運輸株式会社お客様相談センター
TEL 0584-82-5070
Mail cycling@seino.co.jp

梱包セット内容一覧

タイヤ幅調整板
2セット



プラ板
本体に貼付済



タイヤ用仕切り板ダン
1枚



PPバンド・ストッパー
2セット



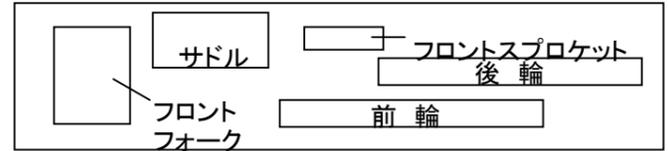
ご用意いただくもの(同梱されておりませんので、お客様にてご準備下さい)

緩衝材(タオルやエアキャップ等)、粘着テープ、はさみ、カッターナイフ
長袖衣類、手袋(梱包作業時には、安全のため長袖衣類、軍手等の着用をお願いします)

梱包手順

写真は分かりやすいように箱の側面をはずした状態で説明しております。
実際には輸送箱の上部から自転車をセットしていただきます。

【中敷へのセット位置】



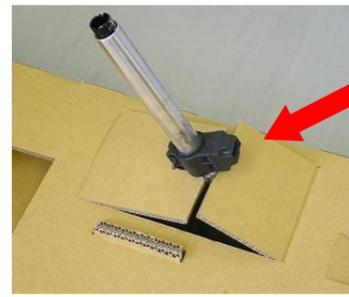
① 自転車の前輪、サドルを外します。



② サドルを中敷きに収納します。



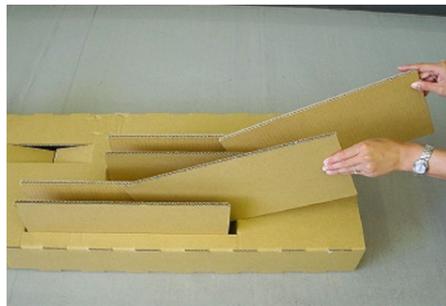
輸送中にサドルが飛び出さないように、切れ込み部分を被せて収納してください。



③ 自転車のタイヤ幅に合わせて中敷にアタッチメントを装着します。



必要に応じて調整板(小)もご利用ください。



④ ハンドルを『くの字』にたたみ、左ペダルを前、右ペダルを後ろにします。



※前輪を収めるため、左ペダルを前側、右ペダルを後側にセットします。

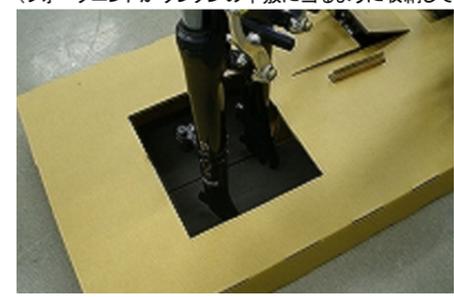


本体を中敷にセットした状態です。

⑤ 後輪を中敷にセットします。



⑥ フロントフォークを中敷きにセットします。



⑦ フロントプロケットが中敷にセットされていることを確認してください。



⑧ レバーが外側になるように、前輪を中敷き後方にセットします。



前輪のシャフトがダンボール側のプラ板に当たっていることを確認します。



⑨ 自転車の後輪と前輪の間にタイヤ仕切り板を差し込みます。(シャフト・フレームのキズ防止)



⑩ 上フタを被せます。



⑪ 同梱のPPバンド(黄色)を掛ければ完成です。(PPバンドの使用法は別紙にて)



お客様へ

《お取扱いのご注意》

この度は、輸送ケースレンタルサービスをご利用頂き、誠に有難うございました。箱の上・下のフタは、プラスチックダンボールという素材でできております。製品の切断面・端面は鋭利になっている場合がありますので、お取り扱いには十分にご注意ください。特にお子様が取り扱う際は気を付けてください。自転車を収納する場合には、手袋・軍手・長袖等をご着用の上、作業を行なって頂く様、お願い申し上げます。